

学校紹介
新聞

那珂市立第一中学校



- ◆校長 手塚 浩志
- ◆生徒数 363人
- ◆創立 1962年
- ◆住所 那珂市後台2547

ぐくっと
カリキュラム

探究的(たんきゅうてき)な学びの中で語り合う生徒



協働的学びで学力向上

本校では、昨年度、国語の授業で「学びのイノベーション」に取り組みました。学びのイノベーションでは、これまでよりも、協働的な学習をする時間が大幅に増えました。そのため、意見や情報の交換がどんどん積極的になり、より質の高い学習ができるようになったと思います。

学びのイノベーションを通して、自分の考えをさまざまな方法で伝えることが楽しくなり、タブレットを中心に伝える方法をこれまでよりも増やすことができたので、授業に対するモチベーションが上がりました。

今後の授業でも、このような学習に楽しく取り組むことで、学力の向上につなげたいと考えています。(8年 桐原碧已、立原佳樹)



桐原碧已



立原佳樹



つながる
学校です!



ばら野学園の一員として交流する児童生徒

小中一貫、交流を大切に

那珂市の学校では、小中一貫教育を行っています。9年間で、それぞれの夢や目標に向けて、力強く生き抜けることを目指しています。その中で小学校との交流活動として行っている、ばら野学園の「学園の時間」について紹介します。



一つ目は「話し合う活動」です。SDGs(持続可能な開発目標)や地域の先人・根本正の生き方など、テーマを決めて話し合いを行っています。経験をもとに意見

を出し合うことで、「話し合う力」を伸ばしつつ、地域貢献や将来の生き方などへの意識が高まっています。

二つ目は「プレゼン発表」です。職場体験や起業体験での取り組みや学んだことをプレゼンにまとめ、小学生に発表したり、意見交換を行ったりしています。「学校紹介」も行っています。生徒が中心となり授業や部活などの説明を動画にまとめて紹介しています。将来の目標達成のために、充実した9年間を過ごせるよう小学生との交流を大切にしていきたいです。(8年 浅見紗那)

ペットボトルロケットを作る講座



楽しい授業

興味に合わせ講座選ぶ

本校では「Evolutionary Learning(エボリューションラーニング)」という講座が毎年行われます。この講座は各教科の先生が普段の授業では行わないような専門的な講義をしてくれます。外部から専門の先生がくる講座もあります。自分の興味のある教科に応募し講座を受けます。例えば国語では高校生と百人一首や書道体験をしたり、家庭科では地域の人と一緒に作るしびなを作ったりと、今年は何んな講座があるか、ワクワクします。

僕は、理科の講座でペットボトルロケットを作りました。設計図通りにペットボトルを組み立て、水と空気を入れるだけでロケットを飛ばせました。僕の班は失敗して、うまく飛ばすことができませんでしたが、とても楽しかったです。授業後は気分がリフレッシュされ、また、明日も頑張ろうと思いました。(9年 藤江斗真)



がんばっています!



お客さまとの交流も楽しむ

起業体験、貴重な経験



本校では、8年の総合的な学習の時間に「起業体験」を行います。会社のコンセプト、社名、商品の決定、資金調達、原材料の購入、商品製作、商品の販売に至るまで、起業のプロセスを実践的に学びます。

地域のお祭りに参加し、初めて商品を販売した際は、多くの人がテントの前を通りすぎるものの、誰も足を止めず、不安に感じました。ようやく1つ目が売れたときは、喜びとともに、それに勝る緊張を感じたのを覚えています。

商品はコンセプトに合っていたか、生産個数や価格設定は適正であったかなど、課題も残りました。将来、起業する生徒がどれくらいいるかは分かりませんが、各部署が協力し合って目標を達成できたことや、心を込めて作ったものへの対価として代金をいただいたときの喜びは、貴重な経験と思い出になりました。(9年 笹島清大)

次回は4月17日 常陸太田市立金砂郷小学校です

いつでも
どこでも

茨城新聞ダブルプラン

茨城新聞 +電子版セット

新聞購読料+月額300円(税込)

合計月額4,100円(税込)

電子版なら手軽に茨城新聞を持ち出せます。紙の新聞も自宅で見たい。そんなあなたにぴったり。

電子版の特長

- 過去1カ月分の紙面ビューアー
- クリッピング機能
- 記事の検索もできる
- 高校野球速報や電子号外
- 「電子版コラム」「デジ缶」など独自のコンテンツ

※クリッピング機能とはお気に入りの記事を保存しておくサービスです。写真は保存出来ません(テキストのみ)。

<ダブルプランお申込み時の注意事項>

- ご自宅で茨城新聞を販売店から定期購読している個人の読者様限定です。
- 茨城新聞のご購読が確認でき次第、電子版のご利用ができます。県外の方は利用できません。
- お申込みは購読者ご本人によるインターネットからの申し込みとさせていただきます。販売店からのお申込みはできません。
- 茨城新聞をご購読の販売店が新聞購読料と合わせて集金します。
- 電子版の利用期間は月単位となります。月中でのお申込みの場合、その月は無料として利用できます。また、電子版の日割り精算は受け付けておりません。
- 茨城新聞電子版はAndroid、またはiOS用のアプリになりますので、基本的にパソコンでご覧になることは出来ません。

ダブルプランのお申込みはこちら

【問い合わせ】
茨城新聞社販売局
Tel.029(239)3030
平日9:30~17:00

